

第 2 期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョンの策定について

1. 策定の趣旨

鳥取県東部の 1 市 4 町（鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町）と兵庫県北但西部の 2 町（香美町、新温泉町）は、古くから一体的な生活圏を形成しており、地域に共通する歴史文化遺産「麒麟獅子舞」にちなんで、この圏域を「麒麟のまち」圏域と銘打ち、地域の活性化を図ってきました。

平成 30 年度にスタートした「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」（以下、「第 1 期連携中枢都市圏ビジョン」という）においては、「ア 圏域全体の経済成長の牽引」、「イ 高次の都市機能の集積・強化」、「ウ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の 3 つの分野で、様々な取組を進めているところです。

一方で、人口減少や少子高齢化の進行による社会構造の変化に加え、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大を契機とした新たな社会・経済状態への変化、大規模な自然災害の頻発による命や暮らしを守る意識や関心の高まりなど、圏域をとりまく状況は刻々と変化しています。このような中、本圏域でこれまで培ってきた連携をさらに深化させ、圏域全体の持続的かつ一体的な発展をめざしていく必要があります。

本圏域では、第 1 期連携中枢都市圏ビジョンが令和 4 年度で終期を迎えることから、これまでの取組の成果や課題、本圏域を取り巻く社会情勢等を踏まえ、令和 5 年度を始期とする「第 2 期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」（以下、「第 2 期連携中枢都市圏ビジョン」という）を策定します。

2. 第 2 期連携中枢都市圏ビジョンの概要

(1) ビジョンの名称

第 2 期因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン

(2) 計画期間

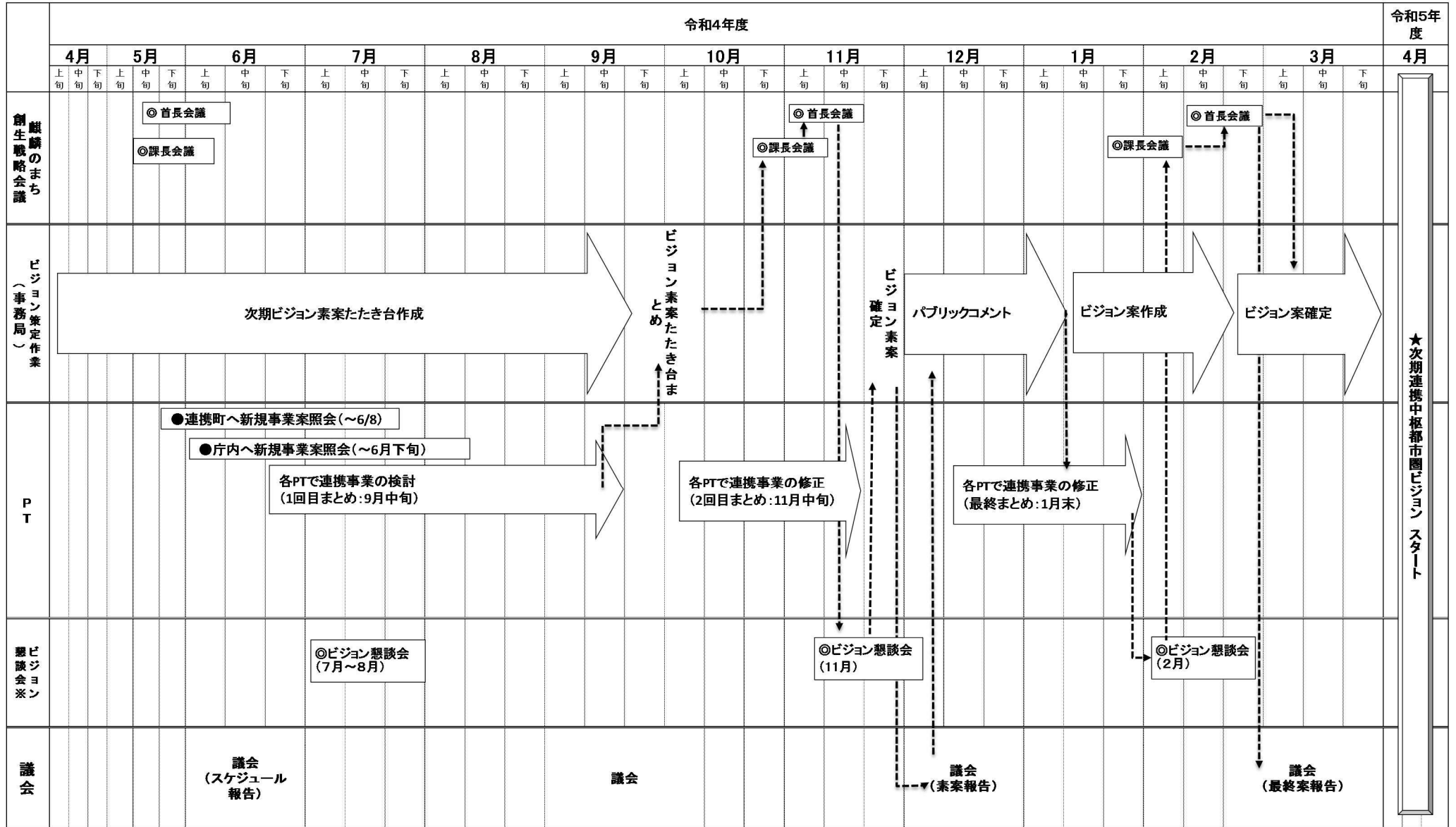
令和 5 年度から令和 9 年度までの 5 年間

(3) 策定の流れ

第 2 期連携中枢都市圏ビジョン(案)については、麒麟のまち創生戦略会議(首長会議、担当課長会議等)において協議し、適宜圏域 7 市町議会への説明を行います。また、圏域内有識者や圏域住民等で構成する「連携中枢都市圏ビジョン懇談会」やパブリックコメントにおいて意見を聴取し、圏域住民の意見を反映したビジョンとします。

<策定スケジュールは次項のとおり>

第2期「因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏ビジョン」策定スケジュール



★次期連携中枢都市圏ビジョンスタート

※ビジョン懇談会: 麒麟のまち圏域の有識者・住民で構成。ビジョンの策定・進捗管理について協議・意見聴取等を行う。(R4は3回予定)